

解答

□

問1 ア 真面目 イ 仕向〔ける〕 ウ 捨〔てた〕 エ 放〔り〕 オ 報〔われ〕

カ 命名 キ 競争 ク 垂〔れる〕 ケ 納得 コ 生〔い〕

問2 イ

問3 エ

問4 魚釣りのようにじっとすることもなく、弟とも思いつき好きにはしゃぎまわりながら自然を満喫し、洋服や靴がぬれても母の小言を気にしなくなるほど、解放感いっぱいだったから。

問5 イ

問6 魚捕り名人のシゲオと一緒にの方がたくさん魚が捕れると思って強気にいる弟に、シゲオは魚を全部自分のものにするつもりだと言うと、一瞬ためらったものの、意地っ張りだから後には引けず、必死にシゲオに追いつがり、頼りしかなく、あわてているのだ。

問7 オ

問8 ウ

問9 自分勝手に年下の子の面倒を見ると思えないシゲオと一緒にでは、弟はきつとつらい思いをしているだろうと心配していたのに、二人は得意げな顔で帰ってきて、弟はいちばん大きいウグイを捕ったと自慢し、シゲオもまんざらではない様子だった。そんなに楽しかったのかとうらやましく思い、自分がシゲオと一緒に行かなかったことと、子分のように思っていた弟がシゲオに取られたように感じたことが「悔し」く思う反面、弟が楽しんでくれたことに安心し、「嬉しい」気持ちになった。

問10 からかったりからかわれたりしながらも心を許せて、言葉がなくなるとも気持ちを通じ合い、今の僕には安心して心おきなく楽しく過ごしていられるかけがえのない存在である。

問11 省略

解説

□

問3 魚捕りのコツを知っているなら仲間にも教えてくれたらいいのに、教えてくれず「にやにやしているだけ」のシゲオのことを、僕たちは「頑固なやつ」「シゲオはケチ」とからかっています。

問5 「案の定」とは、思ったとおり、という意味です。

問8 傍線部の直前の段落を読むと、「僕」はこの時点では、シゲオが弟の面倒を見てくれているとは想像もしていないということがわかります。